

※三田国際学園中学校 (IC コース)※

～ 概要～

- **試験形式** : 60 分の試験時間内に、Reasoning (推論・算数)、Listening、Reading、Writing を行う。リスニングは開始 25 分後に実施される。
- **設問概要** : [Part 1] Reasoning (算数・論理的思考) : [Part 2] Listening (長文講義・4 択) : [Part 3] Reading (記述解答中心・パラフレーズ) : [Part 4] Writing (引用句に対するエッセイ)
- **時間配分予想** : Reading は「自分の言葉で書く」ことが求められるため、時間を要する。リスニングの時間を除いた約 35 分で、算数・読解・エッセイを処理するスピードが必要。

～ [Part 1] Reasoning (論理・算数)～

- **形式** : 英語による算数・論理問題。
- **問題数** : 5 問 (記述式)。
- **ポイント** : 表の読み取り (統計)、単利計算 (Interest)、円の面積 (Area)、確率 (Probability)、年齢算などが出題される。英語の数学用語 (product, sum, probability, circular region など) を正確に理解し、計算する力が必要。

～ [Part 2] Listening (講義形式)～

- **形式** : 歴史的なトピック (大陸横断鉄道など) に関する長めの講義を聞き、質問に答える。放送は 2 回。
- **問題数** : 5 問 (4 択)。
- **ポイント** : 具体的な年号や数値だけでなく、文章の「トーン (口調)」や「暗示されている内容 (inference)」を問う設問が含まれる。単なる情報聞き取り以上の深い理解力が求められる。

～ [Part 3] Reading (記述・要約)～

- **形式** : アカデミックな長文 (睡眠の科学、プロジェクト型学習など) を読み、質問に答える。
- **問題数** : 各パッセージ 5 問程度。
- **ポイント** : 特筆すべきは "Answers copied directly from the text will not be given credit (本文の丸写しは得点にならない)" という指示。内容を理解し、自分の言葉 (パラフレーズ) で説明する高度な記述力が必要。

～ [Part 4] Writing (エッセイ)～

- **形式** : 著名人の引用句に対し、賛成か反対か、その理由を述べる。
- **語数目安** : 指定なし (完全に論じるのに必要な量)。
- **ポイント** : 抽象的な引用句の意図を解釈し、自分の経験や知識と結びつけて論理的に展開する構成力が問われる。

～ 総評～

- **傾向と対策** : 英語「を」学ぶのではなく、英語「で」考える力 (Math, Science, History, Philosophy) を総合的に問う試験。 : **インターTOMAS** では、単なる英作文ではなく、本文の言い換え (Paraphrasing) の訓練や、数学用語の英語対応、抽象的なテーマに対する論理的思考力の強化を重視します。